

議題 9

区分	☒ 新規 ☐ 再提案 （ ・ ・ 第 回総会； 市）		
種類	☐ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☒ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）		分野 ☒ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☒ 危機管理建設
要望先	☒ 国	担当省庁	
	☒ 県	担当部局課室	警察本部生活安全部 生活安全企画課 県民文化部 くらし安全・消費生活課
	☐ その他	名 称	
件名	持続可能な防犯灯の設置・維持に係る市町村への財政支援について		
提案市	長野市、上田市、千曲市、中野市、大町市、飯山市、安曇野市		
提案要旨	防犯灯は、地域における犯罪抑止や住民の安全・安心を確保するために不可欠な社会インフラであるが、近年の物価高騰等により、市や地域のみで安定的に整備・更新を継続することが困難な状況にあることから、国に対して、防犯灯の新設・更新に要する設置工事費に対する財政支援制度の創設を要望する。 また、県では各市町村と連携し、持続可能な防犯灯の設置・維持管理に向け、国に対して必要な財政措置を求める働きかけを要望する。		
提案理由	- 匿名・流動型犯罪グループによる凶悪事件や、長野駅前が発生した重大事件などを背景に、体感治安の悪化が懸念され、地域の安心感の向上の役割を果たす、防犯灯の存在が改めて重要視されている。 - 防犯灯は、夜間における犯罪抑止や、通行の安全確保に資する基盤的施設あり、継続的かつ安定的な整備が不可欠である。 - 防犯灯のLED化により電気料金はある程度抑制されているものの、新設・更新に伴う費用は、資材価格や人件費の高騰により年々増加傾向にあり、市及び地域の負担が増大している。 - 防犯灯の管理形態は、市が維持管理の全てを行っている直営方式（５市）や自治会等による管理方式（１４市）など、各市で運用方法は異なるが、いずれの方式においても費用負担には限界が生じつつある。 ・市直営方式（５市） 飯田市、小諸市、佐久市、千曲市、安曇野市 ・自治会等による管理方式（１４市） 長野市、松本市、上田市、岡谷市、諏訪市、須坂市、伊那市 駒ヶ根市、飯山市、中野市、大町市、茅野市、塩尻市、東御市		

現況及び課題等	〈現状〉 ・本市における防犯灯設置数は約3万6,000灯であり、今後数年の間にLED防犯灯の耐用限度年数（寿命）を迎えるため、大量の更新が必要となる。 ・各市の実情に応じた管理方式で運用を図っているが、自治会等による管理方式の場合、新設・更新の設置工事費として各市で1灯当たり約1万5,000円から3万円の補助金を交付している。 ・原料費高騰や人件費の高騰により、防犯灯の新設・更新に係る設置工事費は大幅に上昇しており、市及び地域の双方にとって大きな負担となっている。 〈課題〉 ・設置工事費の高騰により、防犯灯の新設・更新を従来どおり進めることが困難になってきている。 ・自治会等による管理方式の場合、少子高齢化や過疎化などの人口減少、都市化の進行による自治会等への加入数の低下などの理由による区費減少が著しく、財源の確保が難しくなっている。 ・各市単独の財源や地域の自主財源のみでは、更新需要や新設要望に十分対応することができず、将来的に防犯灯設置事業からの撤退や放棄を余儀なくされる地域も出てくる可能性がある。 ・住民の安全・安心な暮らしを守るためにも、持続可能な防犯灯の設置・維持管理は必須であり、そのためにも国による財政支援制度の創設が必要。 ・18市の状況について聞き取り調査を実施した結果、共同提案とまでは至らない市においても、国からの財政支援を求める趣旨には賛同。
関係法令	